

森林環境教育 篠栗町立北勢門小学校 2019年11月26日(火)

糟屋郡篠栗町の北勢門小学校1年生104名を対象に木の実等の自然素材を用いたネイチャークラフト(クリスマスツリー)作りを通しての環境教育を行いました。

9時30分に児童が集合。当日のスタッフが11名だったので、1年生3組を9班に分け、一人当たり11名~12名の児童を担当することになりました。挨拶、スタッフ紹介、アイズブレイク体操、注意事項の説明の後クラフト作りを始めました。

テダ松のまつぼっくりに、いろいろな木の実や花等を飾りつけクリスマスツリーを作るのと斜めに切った枝の断面にサンタクロースを描くのがメインの作業です。子供達は初めは戸惑っていましたが、作業が進むにつれ面白くなったようで、みんな積極的に取り組んでいました。とにかく、いろいろくっつける者、じっくり丁寧にを行う者と個性豊かです。めまぐるしい50分間でしたが、振り返りで「おもしろかった」という声を聞き安堵しました。手伝っていただいたお母さん達も「自分もやってみたい」と大変興味を示されました。



家で話題にしてもらえれば環境教育の意義に沿うものであり期待したいです。



工作後の座

学では「あさがおの芽、どんぐり、まつぼっくり」の話をパネルを使って行いました。大きな声で反応があり低学年の児童にはクイズ形式のプレゼンが有効だと実感しました。



スタッフ一人当たりの児童の数が多いので心配されましたが、父兄の協力がありトラブルもなく無事終了できました。うれしそうに作品を持ち帰る子供達に元気をもらいました。

スタッフ：諸石、田川、出口、大森、常藤、久保田、轟、藤原、後藤、溝口、木村(文責：藤原)